

質問に対する回答について
調査等名) 山形自動車道 鶴岡管内盛土のり面対策工調査設計

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>特記仕様書の履行内容(1-2-4 章)に調査ボーリングの土質区分として粘性土・シルトを想定されていますことから、盛土材料が粘性土・シルトであると想定されていると推察します。ボーリング調査の結果、盛土材料が粘性土・シルトと異なり礫混り土であった場合、サンプリングや物理試験の方法は変更可能でしょうか。また、サンプリングや物理試験の方法を変更した場合、設計変更の対象となりますでしょうか。</p>	<p>調査ボーリングを実施した結果、土質が契約内容と異なっていれば変更対象となります。</p> <p>サンプリングや土質試験については、変更の必要性が認められる場合において変更対象となります。</p>
2	<p>特記仕様書の履行内容(1-2-4 章)のうち、調査ボーリング(φ 86mm)の数量が 10m となっています。また、2-3 章にてサンプリングは固定ピストン式シンウォールサンプラーを想定されていることが示されており、参考資料では各ボーリングでこれらの数量が計上されていますので、ボーリング 1 箇所あたり 1m のφ 86mm 削孔を行った後、深度 2m からサンプリングを行う計画(盛土表層部のサンプリング計画)と推察します。先行実施するφ 66mm ボーリングの結果、サンプリング計画を変更する場合(より深い深度からのサンプリングが必要となった場合)、調査ボーリング(φ 86mm)の数量変更は設計変更の対象となりますでしょうか。</p>	<p>調査ボーリングを実施した結果、現地の土質などの影響で調査深さを変更する必要性が認められる場合において変更対象となります。</p>

番号	質問事項	回答
3	<p>特記仕様書の履行内容(1-2-4 章)のうち、高盛土の沈下、安定解析はレベル 2 地震動の解析が想定されています。ここで、参考図の断面図を見ると盛土下の基礎地盤が傾斜していると考えられる箇所が見られますので、基礎地盤が傾斜していることがボーリング調査で確認された場合には不整形地盤上の盛土として解析するために、応答解析(FEM)を実施する必要があることがマニュアルに記載されています。応答解析(FEM)を実施する場合は、設計変更の対象となりますでしょうか。</p>	<p>調査ボーリングの結果、解析業務の地盤条件等で FEM 解析を追加する必要がある場合は、変更対象となります。</p>
4	<p>特記仕様書の給水等(2-2-2 章)に各調査地点の給水方法が記載されていますが、金抜き設計書では給水費が記載されていません。本業務では給水費は計上しないのでしょうか。あるいは、ボーリング掘削の直接費に割り掛けして計上する場合、車両給水の日数として何日を想定されているかご教示ください。</p>	<p>給水費は調査ボーリングに割掛けられています。うち、車両給水は 2 箇所合わせて 1 2 日分を計上しています。</p>